

◇指導の方法

<予定黒板>



授業が始まる時間を示すカードを予定黒板に貼り、黒板の上の時計と見比べて、授業の準備ができるようにする。

<今時計と目標時計>



「〇分までに〇〇しよう」などと目標時間を知らせる際に使用。目標時計は、手で目標とする時間に設定。今時計と見比べることで残り時間がわかるようにした。

◇指導のねらい

時間を意識して、自分から学習に取り組めるように時計カード、今時計と目標時計等を準備した。今時計と目標時計を見比べることで、時計の読み不確かだったり、時間の長さがわかりにくかったりしても、時のたつ早さや時間内にできたかできなかったかがわかる。

◇指導の評価

授業が始まる時間になっても席についていなかったり、食事や着替えに時間がかかったりする児童に対して、時間を意識して学習できるように、左の教材を準備した。正時以外は時計を読むことが難しいが、マッチングはできるので、今時計と目標時計を隣り合わせにおいて着替え、食事などに取り組んだところ、目標時間を過ぎないように意識する様子が見られるようになった。そして、時間内でできることも増えてきている。最初は、タイマーを使っていたが、時計のマッチングの方が、時間の経過や残り時間が分かりやすいようだった。